スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【香川県宇多津町】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	香川県宇多津町
担当課名	生涯学習課
電話番号	0877-49-8007

・１．自治体の基本情報

スポーツ庁

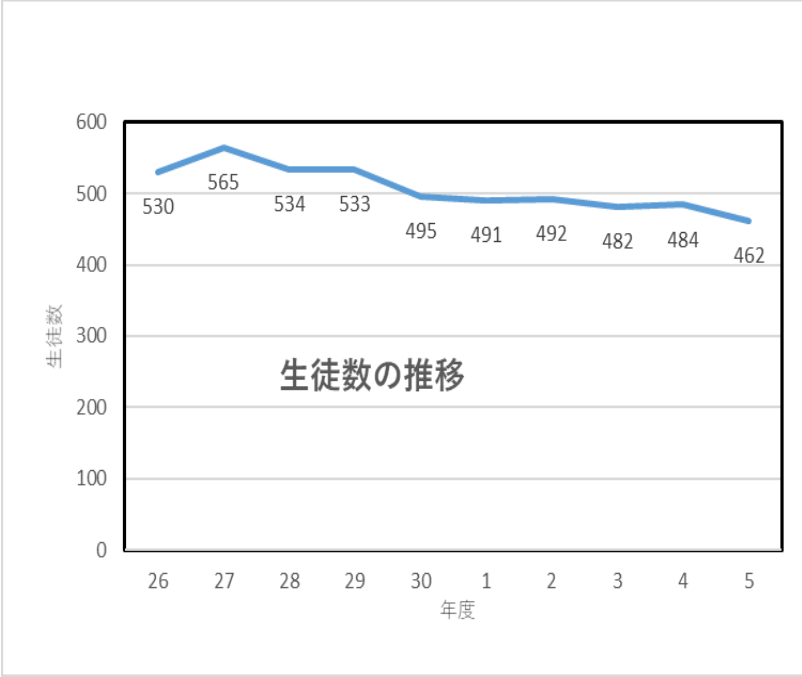
基本情報

人口	人	部活動数	17部活
公立中学校数	1校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
公立中学校生徒数	462人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	現在のところ策定なし

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

【現状】
・宇多津中学校は、町内唯一の公立中学校である。
・生徒数は緩やかではあるが徐々に減少傾向にあり、生徒数に対して部活動数が多い。
・競技・指導経験のない種目の顧問も多くなっている状況である。
・子どもたちは、団体競技よりは個人競技への入部希望者が多く、部活動よりは家庭の時間を優先する傾向にある。
・種目によっては、人数が足りず、近隣の市町の中学校との合同チームを結成しているところもある。

【課題】
・今後、現状の部活動を維持・継続していくことは困難であるため、部活動数や運営方法等、考えていかなければならない。

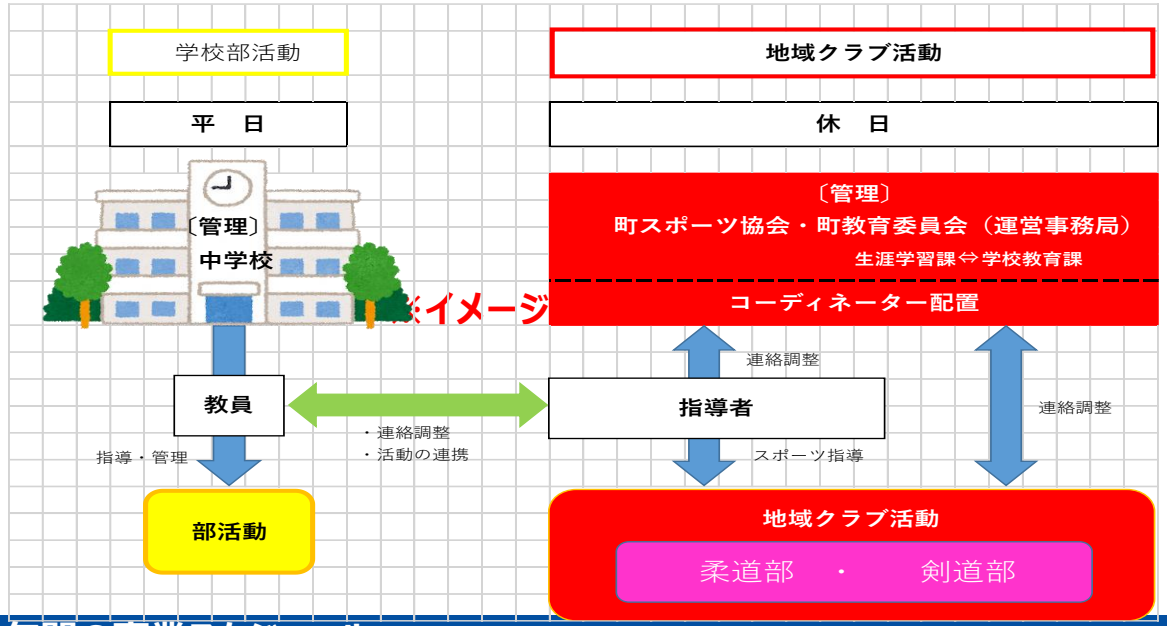


・２．実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

● **教育委員会**（生涯学習課）
コーディネーターを配置して、中学校や町内団体等と連携して、休日の地域移行モデルの構築を図る。

● **首長部局**（総務課）
部活動の休日の地域移行に向けた必要な予算を確保する。

年間の事業スケジュール

４月　柔道部・剣道部部活動地域移行に係る検討会
５月　柔道部・剣道部に対する保護者説明会　　宇多津町部活動活動方針の改正　先進地域視察（東かがわ市）
６月　教師の兼職兼業手続きの様式を改正
７・８月　柔道部・剣道部見学　協議会の開催
９月　地域クラブ活動指導員人材バンク設置　柔道部・剣道部地域クラブ活動開始
１０月　柔道部・剣道部部活動地域移行に係る検討会　柔道部・剣道部の部員に対するアンケート実施
１１月　関係者へのヒアリング
１２月　協議会の開催
１月　保護者・中学生へのアンケート
２月　スポーツ少年団との連携打合せ　柔道部・剣道部地域指導者から次年度へ向けて成果や課題等ヒアリング　事業完了報告書等作成
３月　協議会の開催

・２．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

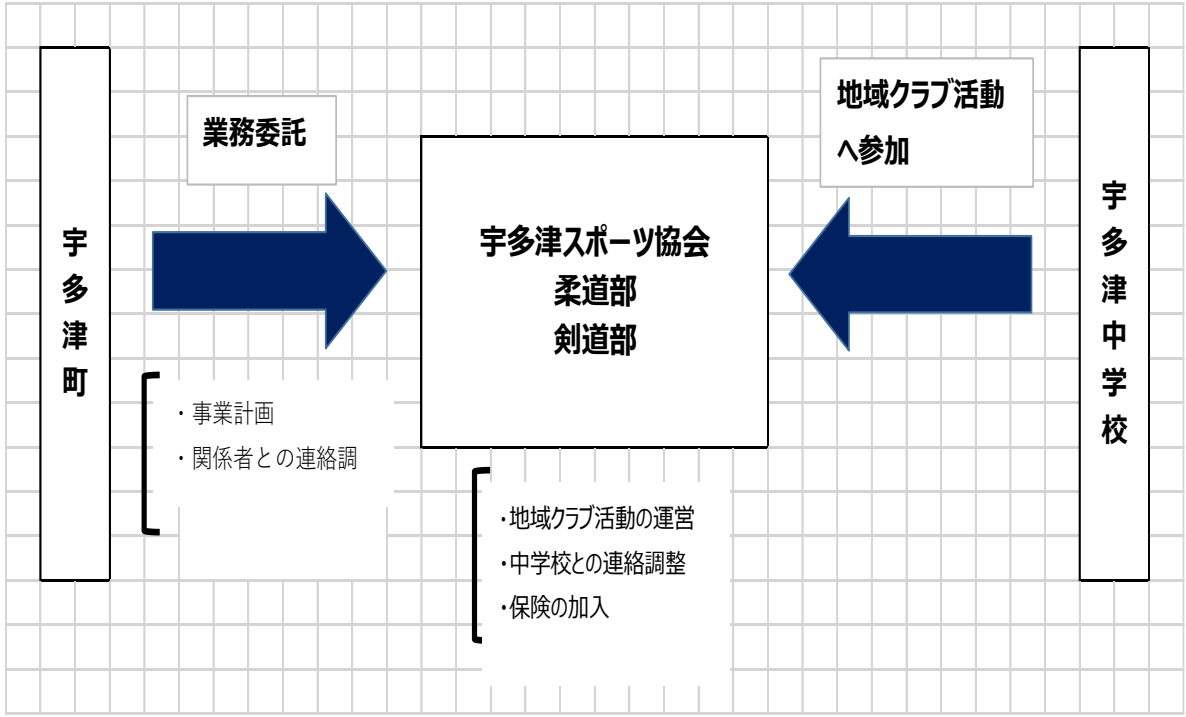
拠点校数	１校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	柔道・剣道
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	２部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	宇多津中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	２部活
地域クラブ活動で実施した種目	柔道・剣道
運営主体名	宇多津スポーツ協会　柔道部・剣道部
運営類型	地域スポーツ団体等運営型（体育・スポーツ協会運営型）
１か月あたりの平均的な活動回数	柔道：月1.3回程度 剣道：月2.3回程度
指導者の主な属性	宇多津スポーツ協会
活動場所	デュアル・スポーツセンター
主な移動手段	自転車
１人あたりの参加会費等（年額）	０円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



・２．実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

・コーディネーターの配置により、中学校・関係団体との連絡調整、指導助言等を行う。
・関係者会、協議会を開催して、情報共有や課題の検討を行う。

取組の成果

・休日の地域移行をした柔道部・剣道部の部員加（１・２年生）１７人を対象としたアンケートの結果、１６名が回答した。回答者の８０％が、顧問以外の人の指導も受けることができて良いとの、肯定的な意見が多かった。
・学校運営協議会で、部活動の地域移行の現状や進捗状況について報告したり、意見をいただいたりすることで、少しずつ地域移行のことが広がっている。また、新たな地域クラブの立ち上げにつながった。（ダンス部）

特に工夫した事項

町の部活動地域移行担当者とコーディネーターが、地域移行を実施している柔道部・剣道部の練習を訪問し、地域の指導者と綿密に連携をとり、信頼関係を構築する。

今後の課題と対応方針

・一層、地域クラブの指導者との交流を深め、さらなる充実につなげていく。
・今年度の活動を通して出てきた課題（試合の引率・欠席連絡の方法等）の解決に向けて、関係者との協議を積極的に進めていく。

・２．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・委託団体、その他スポーツ少年団等の既存団体と協議することで連携を図り、運営団体・実施主体や指導者の確保に努める。
・他市町との合同部活動（野球部）について、他市町教育委員会と互いの情報共有や課題の検討を行う。

取組の成果

・スポーツ少年団の代表者と中学校、教育委員会とで、部活動の休日の地域移行について協議できたことは、互いの現状がわかり、今後のそれぞれの活動についての課題を共有し合うことができ、休日の地域移行を考えていくうえで有意義なものとなった。
・今後、他市町と合同チームである野球部の休日の地域移行に向けて、他市町と協議したことで、顧問以外の本町の外部指導者を入れることにつながり、地域移行への第一歩となった。



特に工夫した事項

・スポーツ少年団の代表者や中学校、教育委員会とで打合せ会を行い、部活動の休日の地域移行について協議した。
・野球部について、合同チームを編成している他市町の教育委員会と今後の運営について協議した。

今後の課題と対応方針

・今年度、すぐにスポーツ少年団との連携の合意には及ばなかったものの、今後、スポーツ少年団と中学生との交流イベントについて計画する。
・他市町との合同部活について、これからも密に教育委員会同士も連携していく。

・２．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

部活動地域移行に関する生徒アンケート　　R5. 10. 25　宇多津町教育委員会

新聞やテレビでも報道されていますが、国の方では、部活動の地域移行を推進しています。それは、将来的に生徒数が減少していくことが見込まれる中、学校部活動が困難になる前に学校と地域との連携・協働により、皆さんのスポーツ・文化芸術活動の場を、地域の実情に応じて、新たな地域クラブ活動として整備していこうというものです。
宇多津町でも、今年度モデル事業として、柔道部・剣道部で休日の学校部活動における地域クラブ活動への移行に取り組んでいます。

これから、みんなでよりよい『地域クラブ活動』にしていくために、生徒の皆さんにアンケートのご協力をお願いします。下記の項目について、該当するものに○を付けてください。また、自由記載欄には意見を記入してください。

Ⅰ．あなた自身について教えてください。

問１　所属部活動
１．柔道部　　２．剣道部

問２　学年
１．１年生　　２．２年生

Ⅱ．現在、柔道部と剣道部は中学校部活動の休日地域移行のモデル事業が始まりましたが、どの様に感じられているか教えてください。

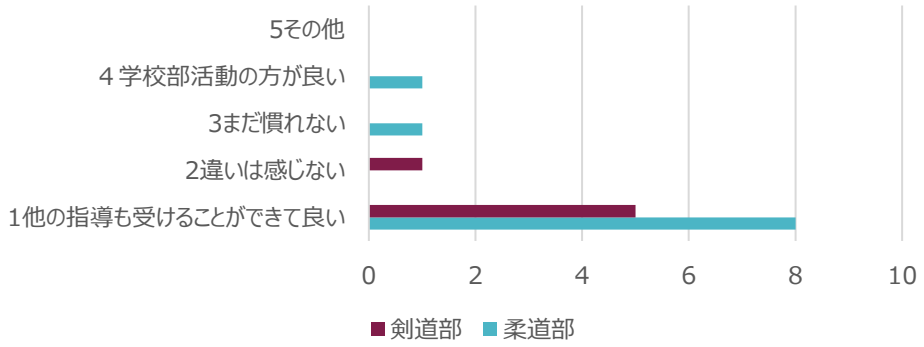
問３　平日の学校部活動と休日の地域クラブ活動に参加してどの様に感じていますか？
１．休日の地域移行をして、他の指導も受けることができて良い
２．違いは感じない（特に問題ない）
３．指導者が変わるので、まだ慣れない
４．平日の学校部活動の方が良い
５．その他
［意見自由記載：　　］

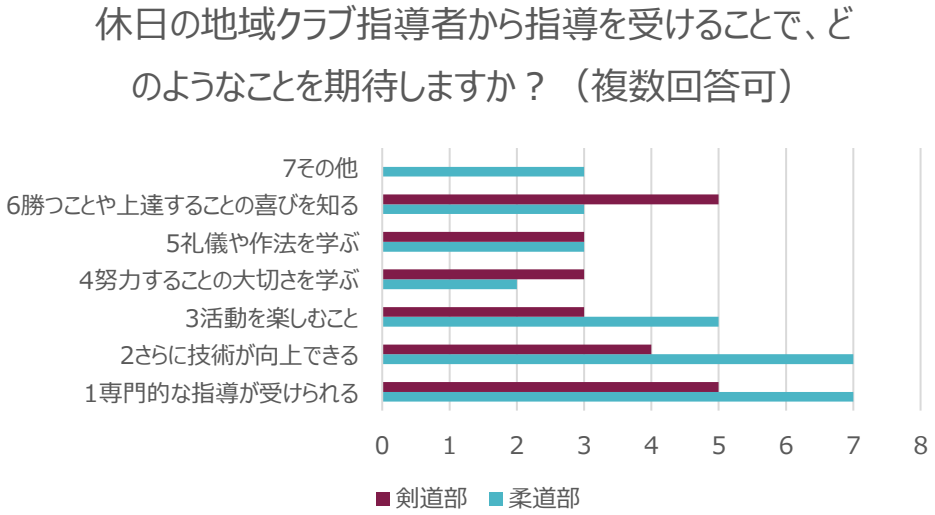
問４　休日の地域クラブ指導者から指導を受けることで、どの様なことを期待しますか？あてはまるものすべてを選んでください。
１．専門的な指導が受けられる
２．指導者が違うことで、さらに技術が向上できる
３．活動を楽しむこと
４．努力することの大切さを学ぶこと
５．礼儀や作法を学ぶこと
６．勝つことや上達することの喜びを知ること
７．その他
［意見自由記載：　　］

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

✂切　１１／６（月）までに、顧問の先生に提出してください。

【柔道部・剣道部　部員アンケート（１０月）】





【アンケート結果】

・２．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【柔道部】



【柔道部】



【剣道部】



【剣道部】

・２．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和４年　　**令和５年**　　**令和６年**

関係団体との協議、検討開始 → 受け皿団体や指導者の決定 → 学校現場との調整・保護者への説明 → 柔道部・剣道部との協議 → 地域クラブ活動の開始 → 地域クラブ活動の拡大

●宇多津スポーツ協会
　宇多津町スポーツ少年団

●経過
　令和4年11月の宇多津スポーツ協会・宇多津町スポーツ少年団の役員会において、教育長より中学校部活動の地域移行について協力を要請した。

●実施にあたって生じた課題
　引き受けてくれる団体がほとんどなく、スポーツ協会の柔道部と剣道部のみが、引き受けてくれた。

●実施内容、工夫した点　等
・3月①に前段階として柔道部と剣道部の代表者と打合せを行い、今後のスケジュール案や委託経費等について協議する。
・3月②に中学校の校長も加わり、令和5年度よりモデル事業として柔道部と剣道部の休日の地域移行を実施すること、コーディネーターをおくことを伝える。

●宇多津スポーツ協会
　柔道部・剣道部

●経過
　令和5年4月～5月に、コーディネーターも加わり、部活動地域移行に係る検討会を実施。保護者説明会を実施。

●実施にあたって生じた課題
・教育委員会側が中学校の部活動の状況や、中体連のルール等について十分把握できていないこと。
・国や県の動向が十分につかめていないこと。

●実施内容、工夫した点　等
・部活動のスケジュール、緊急連絡体制や保険のこと、鍵の管理のこと、保護者会等について、当面の課題について細かく洗い出していった。

●宇多津スポーツ協会
　柔道部・剣道部

●経過
　令和5年８月頃より、休日の地域クラブ活動を開始。

●実施にあたって生じた課題
・休日の地域クラブ活動の練習場所であるデュアル・スポーツセンターが空調工事のため、総体後すぐに練習が実施できなかった。

●実施内容、工夫した点　等
・柔道部と剣道部の部員の多くはスポーツ協会の柔道部と剣道部に所属していたこともあり、地域クラブ活動に移行前から、指導者とは馴染みがあり、スムーズな移行となった。

・３．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

宇多津町教育委員会　部活動休日の地域移行スケジュール

	年度	令和５年度 （２０２３）	令和６年度 （２０２４）	令和７年度 （２０２５）	令和８年度 （２０２６）
事業内容	テーマ	調査・研究（実証事業）	調査・研究（実証事業）	地域移行試行	地域移行本格実施
		○コーディネーター配置	○前年度からの継続実施	○本格実施に向けて方針決定	○休日の完全な地域移行
		○柔道部・剣道部について 実証事業実施	○他市町と合同部活動以外の 運動部・吹奏楽部について 実証事業実施	○前年度からの継続実施	
		○部活動方針改定	○教師の兼職兼業手続き	○受益者負担及び生活困窮者 世帯への補助制度整備	
		○規程・基準等の検討・整備	○受益者負担及び生活困窮者 世帯への補助制度検討		
		○学校部活動以外の地域クラ ブ活動の実施（ダンス部）			
		○地域移行の拡大にむけて関 係団体との連携協議			